

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング

【施策番号 24188：国際科学技術共同研究協力推進事業（JST）（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 14 日 10：41～11：17
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 12 階共用 1202 会議室
- 3 聴取者：総合科学技術会議議員、白石隆議員、青木玲子議員
内閣府 官房審議官（科学技術政策担当）梶田直揮
政策統括官（科学技術政策担当）付参事官（総括担当）大竹暁
- 4 説明者：文部科学省 科学技術・学術政策局 国際交流官 匂坂克久
- 5 施策概要

政府間合意に基づき、主に欧米等先進国を対象として、国が特に重要なものとして設定した相手国・地域と研究分野において、イコールパートナーシップに基づく国際研究交流・共同研究を支援する。平成23年度より、東アジア共同研究基金プログラムの設立に向け、共同審査・管理・評価等基金運営に必要な経験を蓄積するため、ASEAN+6諸国との連携による国際共同研究を開始する。

6 質疑応答模様

【白石議員】

様式 6 の 2 ページ目中段右の要望枠（特別枠）（801 百万円）の「戦略的国際科学技術協力推進プログラム」の「東アジア共同研究基金先導枠」（300 百万円）について、1 課題あたり 400 万円程度という理解だが、経費は旅費か。

【文部科学省】

東アジアの地域との研究交流として基本的には旅費である。

【白石議員】

これまでの拠点交流というものを交流枠として新たなテーマ毎につくるのか。

【文部科学省】

東アジアの地域とは、これまで中国、タイ、韓国、シンガポールなど二国間協力で、あるいは、日中韓で進めているものもある。これらを糾合しながら、さらに多国間の課題を新たにたてている。

【内閣府】

3 億円（300 百万円）から事業推進費 1 億円（100 万円）の除いた 2 億円が旅費等にあたり、24 課題なので、1 課題あたり 1000 万円程度という理解ではないのか。

【文部科学省】

然り。失礼致しました。

【青木議員】

ASEAN+6 など相手国側で利用する需要はあるのか。細分化すると応募側でやりにくくなってくると思うが。例えば、要求額内にある「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」など。

【文部科学省】

非常に競争力の高いプログラム。22年度において、採択は17課題に対して応募は109件。従来にはない評判の非常に良い独)科学技術振興機構とJICA(ODA)との連携事業。各国も非常に関心を持っている。

【白石議員】

欧米との研究交流は平均で500~1000万円/課題か。

【文部科学省】

然り。要望枠の「戦略的国際科学・・・」の「共同研究」の方は、より大型で5000万円~1億円/課題

【白石議員】

これは双方向か。つまり研究者が向こうに行き、向こうからこちらにも来るのか。

【文部科学省】

然り。双方同額程度の研究費を用意して、さらに先方の研究機関がサポートすることが前提となってイコールパートナーシップで研究をする。

【白石議員】

「東アジア共同研究基金先導枠」の場合はどうなるのか。コンディショナルにするのか。

【文部科学省】

できるだけそのようにもってゆきたい。現在、東アジアでは、韓、中はもとより、インド、シンガ、タイのASEANに加え、豪、NZとの国々とイコールパートナーシップの研究交流を行っており、素地はできている。また、南ア、メキシコ等とのイコールの協力関係、交流関係もある。

【白石議員】

私もやったことがあるが、(イコールパートナーシップで共同研究を行うのは)けっこう大変ではないか。

【文部科学省】

5000万円~1億円/課題程度の小額であれば、大丈夫である。

【内閣府】

3000万円以上/課題は、総合科学技術会議においてアウトリーチ活動(国民との科学技術対話)を求めているが、やって頂けるのか。

【文部科学省】

これを機会に積極的に取り組んでゆきたい。「共同研究」のほうは、毎年5000万円~1億円/課題なのでやる。「地球規模課題・・・プログラム」の方は、3800万円/課題で3000万円/課題をこえているので、平成23年度の公募を実は開始しているが、申請資料の中で書いてもらい評価も行う。

【内閣府】

事務的な補足であるが、「共同研究」のほうは要望枠(特別枠)にすべて放り込んでいるので、政策コンテストの結果によっては、既存のものは倒れてしまうのでは。

【文部科学省】

要望枠（特別枠）は、競争的資金なので、PD、POを定めて、採択させていただかないといけない。新規分のものからということ。一方、既存のものは非競争的資金でして、途中から競争的資金にはかられない。従って、継続分（非競争的資金）は要求額内、新規分（競争的資金）は要望枠（特別枠）と整理している。

【白石議員】

「東アジア共同研…」は基金にいずれすることを考えているのか。

【文部科学省】

基金にしていくためにはそれなりに準備が必要であるのでそういった形でまず進めさせていただきたい。

【内閣府】

今回はプログラムを二つに分けているが、昨年度は別の事業だった。それを一本化したようだが、プログラムは同一のようだがそうした経緯を教えてほしい。

【文部科学省】

事業仕分けの中で、競争的資金の制度が多すぎるという指摘があったので、独）科学技術振興機構において、これまでのプログラムをパッケージ化し整理した。

以上